

心理学情報処理演習ⅠB

科目ナンバリング POI-102

必修 4単位

草山	太一・近藤	紀子・實吉	綾子・
辻田	匡葵・堀田	結孝・宮脇	郁・
望月	要・脇田	真清	

1. 授業の概要(ねらい)

コンピュータを心理学の研究に利用する方法と技術を学び、それを使って簡単な実験ないし調査を体験し、そのデータを『心理データサイエンス基礎演習Ⅰ』で習得した技術も活用して統計的に分析し、心理学で求められる形式に則ったレポートにまとめるまでの一連の作業を実習する。

2. 授業の到達目標

- ①データ分析の結果とその考察を論理的にプレゼンテーションできる。
- ②授業に関連したプレゼンテーション資料を作成できる。
- ③文章の羅列ではなく、相手に伝えることを意識した効果的なスライドを作成できる。
- ④実験配置図、概念図、モデル図など心理学のレポート作成に必要な作図のスキルを修得する。
- ⑤データを集計することができる。
- ⑥心理学の領域で求められる正しい形式の図表を作成できる。
- ⑦相関関係の分析ができる。
- ⑧問題・方法・結果・考察へ分節化した実証研究の科学的レポートを執筆できる。

3. 成績評価の方法および基準

単元ごとに課題の提出を求め、その到達度などから評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

演習に必要な資料は適宜、配布する。

5. 準備学修の内容

積み重ねによる学習が求められるので、欠席したり、理解できないことを質問しないでそのままにしたりすれば、先に進めず、どんどんと遅れていくことになる。授業で分からなかった箇所については、十分に復習しておく必要がある。演習に必要な資料は適宜、配布の予定である。

6. その他履修上の注意事項

課題については、提出期日を守って必ず提出すること。授業を欠席すると履修が難しくなる。やむを得ず欠席した場合、欠席した日の授業内容を各自で実習し課題があれば提出すること。実習にはデータ保存用のUSBフラッシュメモリーが必要なので、初回の授業日から必ず持参すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション:『心理学情報処理演習Ⅰ』を振り返り、今後の授業計画や内容について説明する。
- 【第2回】 ExcelとRの復習(1):データを集計し、図表の作成と分析を行う。
- 【第3回】 ExcelとRの復習(2):Rを使って、 χ^2 検定を学習する。
- 【第4回】 ExcelとRの復習(3):ExcelとRを使って、 χ^2 検定の結果を効果的に図表に示す。
- 【第5回】 ExcelとRの復習(4):Rを使って、t検定を学ぶ。
- 【第6回】 ExcelとRの復習(5):ExcelとRを使って、t検定の結果を効果的に図表に示す。
- 【第7回】 プログラミング(1):心理学の実験や調査のために、プログラミング言語やスクリプト等を学ぶ。
- 【第8回】 プログラミング(2):心理学の実験や調査のために、プログラミング言語やスクリプト等を学ぶ。
- 【第9回】 プログラミング(3):作成したプログラムを用いて、データを収集する。
- 【第10回】 レポート作成(1):第9回で収集したデータを統計処理し、図表を作成する。
- 【第11回】 レポート作成(2):日本心理学会執筆投稿の手引きに従って、レポートの方法と結果を作成する。
- 【第12回】 レポート作成(3):日本心理学会執筆投稿の手引きに従って、レポートの目的と考察を作成する。
- 【第13回】 レポート作成(4):第12回で作成したレポートを用いて、発表用スライドを作成する。
- 【第14回】 プレゼンテーション:第13回で作成したスライドを用いて、プレゼンテーションを行う。*オンラインで行う。
- 【第15回】 まとめ:全体の総括を行う。